

大阪関西万博中止を

共産党大阪府委が声明

いま止めないと命・安全守れない

2025年の大阪・関西万博を巡り、参加国のパビリオン建設の遅れや会場建設費の大幅な上振れが大問題になる中、共産党大阪府委員会は8月30日、「万博の中止を求める声明」を発表しました。

政府や府は遅れを取り戻すため通常でないやり方をしようとしています。①万博協会は2024年から始まる建設業界への時間外労働の上限規制を万博建設には適用しないよう政府に要請。長時間労働の恐れ
②経産省はパビリオン建設費が支払われない場合、通常の3分の1程度の保険料で代金の90%以上を建設業者に補償す



万博中止を訴える、たつみコータロー元参議院議員(中央)ら=8月30日、大阪市天王寺区

る優遇制度を創設。
既に破綻状態
現行法を守れば建設をすすめられず、代金支払いが不確定でも建設を始めざるを得ない状況です。「声明」では「事業はすでに破たん」、「いま止めないと、命と安全が守れず、多大な負担を国民に押し付けることになる」としています。
(裏面に続く)

折り目

放出中止し中国政府と協議を

原発汚染水



福島第1原発の汚染水貯留タンク群(2013年8月当時)

岸田政権と東京電力は8月24日、福島第1原発事故で発生した汚染水(アルプス処理水)の海洋放出を強行しました。「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」との約束を投げ捨てるものです。

中国は日本産海産物を禁輸にし、中国の日本人学校への

日本共産党

嫌がらせが相次いでいます。共産党の小池晃書記局長は「近隣諸国の理解を得ることも政府としての大事な責任」とし、「海洋放出を中止し、中国政府と事態打開に向けた協議を行うべきだ」と述べました。

放出回避の提案 検討を

汚染水が原発からの排水と大きく違うのは、核燃料が溶け落ちたデブリに接触していることです。アルプスで「処理」してもトリチウムは除去できず、「基準値以下」に希釈するとはいえ、セシウム、ストロン

チウムなども含まれています。建屋内への地下水流入を止めない限り汚染水は増え続けます。▽「凍土壁」の外側に「広域遮水壁」を建設▽「大型タンク貯留案」や「モルタル固化処分案」も提案されています。これらの提案を政府・東電は真剣に検討すべきです。

総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

日本共産党



元参議院議員、新47 たつみコータロー



党大阪府常任委員、新36(京都2区筆順) 堀川あきこ



衆議院議員2期、前55(大阪4区筆順) 清水ただし



党兵庫県常任委員、新48(兵庫8区筆順) こむら 潤

制度解説

衆院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

近畿民報

2023年9月No.1(第565号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンブース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。